

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん、こんにちは！ 伴野豊です。小雪も過ぎ、季節は次第に本格的な冬を迎えつつありますが、いかがお過ごしですか。私は引き続き地元知多半島を中心に活動させて頂いております。11月19日には年に一度の「知多半島から未来を語る会 2013」を開催して頂き、誠にありがとうございました。その時にご報告させて頂きましたが、「ばんの豊」のウェブサイトも日々充実しております。是非、ご覧下さい。今後とも、現地現場主義を貫くべく活動して参りますので、よろしくお願い致します。

伴野豊の気になる国土交通政策



<国土交通委員会の最近の動き>

海賊多発海域における日本船舶の警備に関する特別措置法は、11月13日に参議院本会議で賛成多数で可決・成立しました。

交通政策基本法案は15日に衆議院本会議で賛成多数で可決し（反対は共産）、参議院に送られています。交通基本法案は12日に取り下げられました。

タクシー適正化特措法案は、参議院本会議で20日賛成多数で可決・成立しました。衆議院国土交通委員会では22日、JR北海道野島社長他幹部を参考人招致し集中審議を行いました。函館保線管理室のほか新たに8部署でデータの改ざんがあったこと、運転士がATSをハンマーで壊した問題で被害届を出さなかったことが改めて確認されました。JR幹部の国会招致は05年のJR福知山線脱線事故で当時のJR西日本社長を呼んで以来のことです。28日には参議院国土交通委員会にて同様の集中審議が行われる予定です。

<経済財政諮問会議における社会資本整備のあり方について>

11月20日の閣僚懇で経済対策の策定について指示があったことを受け、21日の経済財政諮問会議にて国土交通大臣がこれからの社会資本整備についてプレゼンしました。内容は以下の通りです。社会資本整備について緊急に取り組むべき課題は、①防災・減災対策、②インフラの老朽化対策、③国際競争力の強化の3点であり、この課題に対応するために2050年頃までの長期を視野に入れたグランドデザインを策定することや、切迫する危機・課題への対応に必要な公共事業予算を安定的・持続的に確保することが不可欠という内容になっているとのことです。



伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、天野祐吉著「成長から成熟へーさよなら経済大国」です。「世界は歪んでいる」から始まり、「計画的廃品化」が過去の経済成長を引っ張て来た話、「経済大国行きの列車の脱線」の話、「生活大国」の話など、さすが「広告」という窓から世の中をのぞいてきた希代のコラムニストならではの、実に面白い。（ただし、リニア中央新幹線のくだりだけはいただけません。東海道新幹線の時にも同様の議論がありましたが、その後の新幹線の効用を考えれば杞憂であることは自明ですから。）

「成熟社会とは、人口および物質的消費の成長はあきらめても、生活の質を成長させることはあきらめない世界であり、物質文明の高い水準にある平和なかつ人類の性質と両立しうる世界である。」というノーベル物理学賞のデニス・ガボールさんの「成熟社会」の定義を引き合いに

「成熟社会」への移行を勧める。「身の丈サイズのテクノロジー」「成長をとめないための成長では意味がない」「脱成長とは減らすこと」「浜矩子さんの成熟社会のイメージは華麗な老楽国家」「中央より地域」などさらに興味深い。エピローグの『別品』の国でありたい。」はたいへん共感します。

集英社新書（定価：本体740円＋税別）



ば

ばんの豊 フェイスブック

検索

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL：0569-25-1888

FAX：0569-25-1881

E-mail:office@bannoyutaka.jp

HP：bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

